

ホノルル気候ガイド

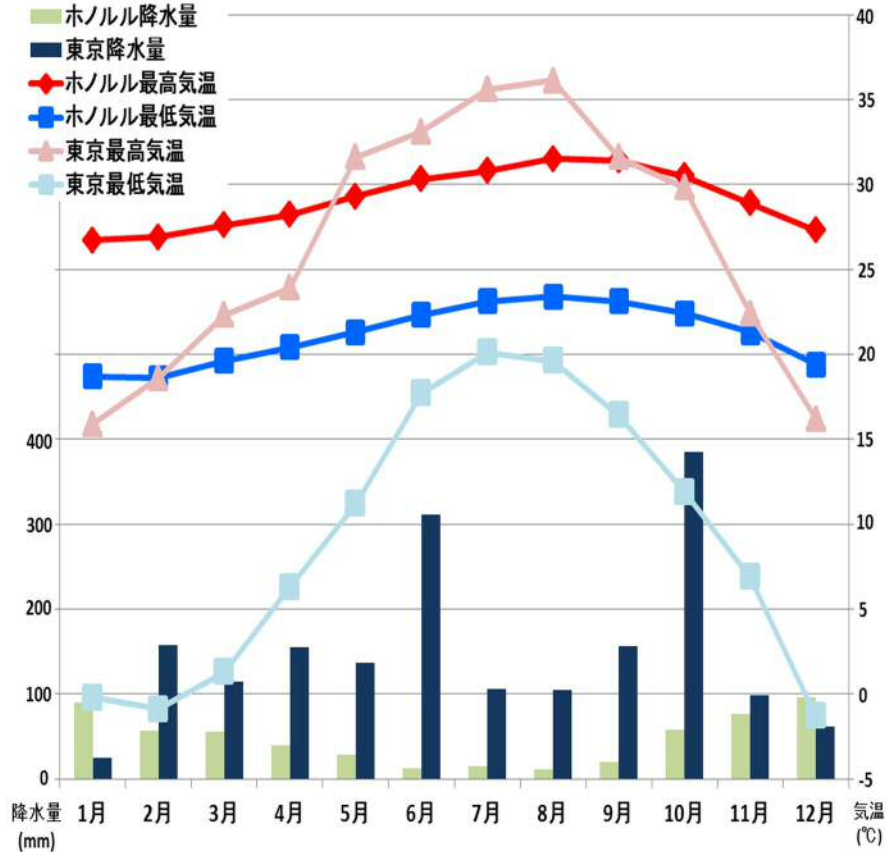
ホノルルでは1年を通して気候が大きく変化することはありません。
1年中がベストシーズンの「常夏の楽園」です。

夏<5~10月>

この時期のホノルルは日中の最高気温が29~31度と高いですが、湿気は無く快適です。はじめじめとした湿度の高い暑さではなく、カラっとした暖かい日が続くため、日本人にとっては過ごしやすい安定した気候と言えます。

特に7~9月は真夏となり、降水量も減って晴天率も高くなるので、天候の面でハズレの日は少なくなります。

服装は日本の夏服で対応できますが、施設によっては冷房が効きすぎていることもあります。長時間買い物をする場合などは、薄手の羽織ものを用意しておくとう便利です。日差しが強いため、サングラスや帽子は必須です。



服装選びの<ワンポイント>

ホテルのレストランやバーへ行く場合、**ビーチサンダルや半ズボン**を避けたカジュアルな服装がベター。

* 男性: 襟付きシャツに長ズボン

* 女性: ワンピースなど

アロハシャツに白いパンツスタイルは、現地の「正装」(=タキシードと同等)にあたります。ドレスコードが必要なレストランでも着用できます。

ホノルル旅行にあると便利!なお役立ちアイテム

- UVケア用品
(日焼け止め、日焼け後のローションなど)
- サングラス
- 帽子
- 軽く羽織れるカーディガンなど
(冷房対策&日焼け対策)



冬<11~4月>

冬とは言っても、日本に比べると温暖で過ごしやすい気候です。夏よりは若干降水量が増えますが、1日に数回、軽い通り雨のように降る程度なので、屋外の観光などに影響が出ることはほとんどありません。

この時期の服装は、日中は夏服で対応できますが、日が沈んだ後には肌寒くなります。日が差していないと体感気温がぐんと下がるので、朝晩に出かける際にはパーカーやカーディガンを1枚用意しておいたり、長ズボンを着用しておくとう安心です。

この時期ならではの楽しみといえば「ホエールウォッチ」です。12~3月は、雄大な自然に生息する野生のザトウクジラが姿を見せます。また、この時期は絶好の「サーフィンシーズン」です。オアフ島のノース・ショアなどでは、荒れた海が良い波をもたらしてくれます。

<溪谷や山へ行く場合>

常夏の楽園ハワイであっても、訪れる場所や目的によっては服装のチョイスが異なります。

カウアイ島やマウイ島、ハワイ島の標高の高い場所を訪れる場合は気温に合わせて**薄い服を何枚も重ね着できる格好**で行くのがベター。それに加え、紫外線が強いのでサングラスを用意しておくことをオススメします。

雨が幸せを呼ぶ?!

ハワイでは、雨は豊かな恵みの象徴＝「幸運の兆し」と考えられています。結婚式で雨が降ると「この結婚はうまくいく」「子宝に恵まれる」と大変喜ばれます。また、虹が出るとより幸運が高まると言われています♪



ビーチでの服装のめやす



水着にTシャツなどの軽装でOKです。



海辺ではサンゴや硬い岩盤で足の裏を怪我する可能性があります。マリンシューズや靴底のしっかりとしたサンダルを履いておくと安心です。



ショッピングでの服装のめやす



ショッピングでは動きやすい身軽な格好がベター。

ドレスコードのあるレストランなどへ行く予定が無いのならTシャツにジーパンでもOK!

朝夕の冷え込みや室内での冷房対策に、カーディガンのような薄手の長袖を用意しておくとう便利です。紫外線対策にもなります。



レポーター
名鉄観光

村瀬 示帆 荻本 尚子
<2015年11月16日>